



MERCEDES-BENZ M-Class

欧州SUVブームは“M”から始まった

プレミアムSUVというカテゴリーを開拓したのは'97年デビューのメルセデス・ベンツMクラスだった。その後、欧州各ブランドが参入して同カテゴリーが確立。Mクラスも二代目となり、高級車としての魅力がアップ。プレミアムSUVの代表格と言える地位を獲得した。

文/佐藤優彦 写真/小林岳夫



上品な高性能がMクラスの魅力

セダンやクーペなど的高级乗用車を主力とするメルセデス・ベンツだが、4x4モデルにも長い歴史がある。欧州車ブランドにプレミアムSUVを意識させたのは、'97年デビューのMクラスだったし、それ以前の欧州市場で4x4と言えば、Gクラスかランドローバーくらいしか存在しなかった。

初代Mクラスは、北米市場でのSUVの人気を背景に誕生した。しかし、華々しく登場した初代Mクラスの評判は、必ずしもメルセデス・ベンツの期待通りとは言えなかった。初のアメリカ生産で、品質管理が思うようにできなかったのが理由のひとつ。また、当時

はまだプレミアムSUVというジャンルも確立されておらず、本格四駆と乗用車の間で、中途半端に見られたのも不幸だった。'02年のマイナーチェンジで、徹底して品質向上を訴えたものの、一度付いた評判を覆すには至らなかった。

状況が一変したのは、'05年登場の二代目Mクラスからだ。初代の反省から、徹底的に品質の向上が図られたのは言うまでもない。欧州ブランドのプレミアムSUVとしてはもちろん、メルセデス・ベンツの高級乗用車としても十分に評価できるデザイン、機能、素材が与えられたのだ。

二代目Mクラスは、3.5リッターV6の

ML350と5リッターV8のML500の2グレード構成。'08年からはV8エンジンの排気量が5.5リッターに拡大され、ML550へと進化している。また、AMGチューンのスペシャル版として6.3リッターV8のML63AMGも存在する。

内外装をクオリティーアップした二代目Mクラスは、同時にオンロード性能のブラッシュアップも果たした。静かでスムーズ、安全に走れる性能。居住空間の広さも相まって、長距離走行も快適だ。

カイエンやX5のようなトンがった性能を持つわけではないが、プレミアム性を感じさせる性能をバランス良く備える。欧州プレミアムSUVを代表するモデルだ。



後期モデルはヘッドライトやバンパーの形状が異なる。最も大きいのはサイドアンダーミラーの有無かも。



①ウイカーレバーのようだが、これがATセレクター。全車とも7速ATだ。②スポーツパッケージは19インチアルミホイールを履く。③スポーツパッケージのシートは本革とアルカンターラのコンビネーション。

①ML500オフロードパッケージのセンターパネル。センター&リアデフロックのダイヤルが備わる。②エンジンは3.5リッターV6と5リッターV8の二本立て。③ML500オフロードパッケージには車高調整機構付きのエアサスが採用された。



この車種の認定中古車物件を探す